

# 子ども政策の総合化 について考える

日本学術会議 公開シンポジウム

2021. 10. 31

講演2 コメント 岡部 美香（大阪大学）

# 子ども政策の総合化のポイント

---

- ① 実際に生じている問題を中心に置く
- ② 問題の当事者が 問題に関する話し合いの場に必ずいる
- ③ 「公」と「民」がうまく連携する
- ④ 「気になる」子どもや状況が共有できるようにする



# 子ども政策の総合化のポイント

---

## ③ 「公」と「民」がうまく連携する

- ・「子どもサポートネット」（大阪市）

<https://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/page/0000436277.html>

- ・「わが町にしなり子育てネット」（西成区）

<https://nishinari-kosodatenet.com/>

- ・「子ども地域包括ケアシステム」（生野区）

# 子ども政策の総合化のポイント

---

## ③ 「公」と「民」がうまく連携する

- ・「子どもサポートネット」（大阪市）
- ・「わが町にしなり子育てネット」（西成区）
- ・「子ども地域包括ケアシステム」（生野区）

<https://www.city.osaka.lg.jp/ikuno/page/0000505234.html>

<https://www.city.osaka.lg.jp/ikuno/page/0000501540.html> (kintone)

# 子ども政策の総合化のポイント

---

- ① 実際に生じている問題を中心に置く
- ② 問題の当事者が 問題に関する話し合いの場に必ずいる
- ③ 「公」と「民」がうまく連携する
- ④ 「気になる」子どもや状況が共有できるようにする



# 残された課題の一つは・・・

---

- 中学生から高校生へ、高校生から社会人へ

Ex. 大阪市平野区の事例

- ・「子ども自立アシスト事業」（大阪市）

（中学生と15～18歳の子どもや保護者に対する事業）

<https://www.kmrb.jp/posts/10659068/>

- ・「ひらの青春生活応援事業」（平野区）（高校生に対する事業）

<https://www.city.osaka.lg.jp/hirano/page/0000534803.html>

# 現代の状況

---

- 「学校化社会」のなかで、学校教育システムから降りることはできない
- 学校こそが、格差を再生産している

Cf. 刈谷剛彦『大衆教育社会のゆくえ』、中央公論新社、1995年

P. ブルデュー・J. パスロン『再生産』、藤原書店、1991年 など

# おわりに

---

私たちにできることは何か...？

- 平等 (equality) よりも、公正 (equity) をめざす
- 無理をすることなく、だが、かかわる人々が  
自分の仕事の範囲を少しずつ出ながら協働
- SOSの声を挙げない／挙げられないこと  
＝問題がないこと、にはしない